令和7年5月2日



寺津小学校だより

天童市立寺津小学校長 柴田 里美

これからの自分と寺津小学校(始業式 代表の言葉)

六年 遠藤 圭一郎

ぼくが今日話すことは、自分が頑張りたいと思っていること、そのための実際にする行動、これからの寺津小学校をどうしていきたいかです。

これから頑張っていきたいことの一つ目は、話し合いの時に自分と相手がお互い納得できる様にすることです。なぜこのようにしたいかというと、お互いが納得することで他の人の意見を取り入れて良い考えにできるからです。さらに、その意見をどちらも理解して大切にできると思ったからです。

二つ目は、実際にチャレンジしてみることです。なぜチャレンジすることを頑張りたいかというと、 じっさいに経験を積んでいくことから次に活かすことがたくさんあるからです。例えばクラスのこと で学んだことを全校を動かす際に活かすなどということができると思うので頑張りたいです。

次に、これからの寺津小学校をどうしていきたいかです。三月の終わりに、五年生で来年の寺津小学校をどのようにしていきたいか考えました。今のところ、三つの言葉を大事にしていきたいと思います。それは、明るく・仲がよい・協力です。まず明るくでは、みんなが明るくなると学校の雰囲気が明るくなり、学校全体が元気になっていくからです。仲がよいでは。お互いを信頼して協力することにつながるからです。協力では、一人ではできないことをたくさんの人ですることで、そのことが少しずつできていくからです。みんなでこの三つの言葉を大切にして、より良い寺津小学校にしていきましょう。

自分の命は自分で守る~変通数室~



1、2年生は、交通ルールを 守って安全に道路を歩く練習 をしました。1年生と2年生で グループを作り、学校周辺の道 路を歩きました。2年生がお手 本を見せ、1年生を気遣いなが ら歩いていました。前の人についていくのではなく、自分でしっかり確かめることが大事で あると確認しました。



3、4年生は、交通指導員の 方のお話を聞いてから、学校の 周りを自転車で走行しました。 3年生は、初めて自転車を使っ て交通教室に取り組みました。 自転車に乗って発進させるとき も停止して降りるときも、「前し し、後ろよし」と声に出して 過かり確認することを交通指導 員の方に教わりました。



5、6年生は、交通教室も普段の自転車乗りも経験を積んでいるので慣れていて、乗り方が上手な人が多いです。しかし、慣れているからこそ危険があります。油断から確認を怠ったり、止まらず過ぎてしまったりしないようにと交通指導員の方にご指導いただき、大事なことを再確認しました。

「何より大切なのは命」全校朝会で、避難訓練で、学級で、機会を見つけて話をしています。 自分の目で見て、自分の耳で聞いて、自分で考えて、「自分の命は自分で守る」 ということを子 どもたちが意識できるような機会を、これからも作っていきたいと思います。

温かり金になりました

]]年生を辿える会~





「思い出に残る会にしよう」「1年生を 心から歓迎しよう」をめあてに、1年生

を迎える会が行われました。どうしたら1年生が喜んでくれるか、 どうしたら1年生と全校生が仲良くなれるか、と思いながら、6 年生がめあてや内容を考え、準備を進めてくれました。

1年生が自己紹介をするときに、最初は緊張して言えない場面

もありました。でも、みんなが静かに待ってくれました。心の中で応援していた人もいたと思います。6年生が1年生の目線に合わせて話したり、優しく声をかけたりする場面もありました。見ている側も、とても温かい気持ちになりました。ゲームでは、全校生が一緒になって笑顔で楽しみました。1年生へのプレゼントもありました。

教室へ戻った1年生は、「6年生にお礼を伝えたい」「ありがとうのお手紙を書きたい」と話していて、次の日6年生にプレゼントを作りました。1年生は、6年生のことが大好きです。6年生は、朝の時間に1年生の教室に行って一緒に遊んでくれていました。優しい表情、優しい言葉、優しい関わり。日頃から、6年生の思いは1年生に伝わっていたのです。だから、1年生を迎える会が終わった後、「ありがとう」の気持ちが自然にあふれてきたのだと思います。また、温かい気持ちになりました。







4月26日(土)は、今年度初めての授業参観・PTA総会・学級懇談会がありました。多くのご家族の方々よりお越しいただきまして、ありがとうございました。保護者の皆様との出会いを大切にしながら、子どもたちの健やかな成長を願って、今年度の教



育活動に取り組んでいきます。 子どもを真ん中にして (子ども たちの成長を一番に考えて) 子



ども、家庭、学校が同じ方向を向いて進んでいくことができるよう、保護者の皆様と連携を深めていきたいと思っております。 1年間、どうぞよろしくお願いいたします。